横浜市立 緑が丘中学校

校 教 目

標

期 取

組 目 標 たくましく、生きる力を育むために

I 豊かな心と、健やかな体を育てます。《徳·体》 Ⅱ学習力を高め、主体的に学ぶ力を育てます。《知》

Ⅲ視野を広げ、共に生きる力を育てます。《公・開》

創立 42 周年 学校長 畠山 伸正 副校長 山内 容子 学期制 一般学級: 13 個別支援学級: 4 学校

概要 児童生徒数: 472 人 主な関係校: 山下小学校・山下みどり台小学校・谷本小学校・藤が丘小学校

## 教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

<自分づくりに関するカ>

<問題発見・解決能力>

<心身ともにたくましく生きるカ>

中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・緑が丘中学校 ・山下小学校 ・山下みどり台小	〇基本的生活習慣を見につけ、進んで学習に取り組む子ども 〇人と関わりを通して、自己を見つめ、他を大切にする子ども
学校 ・谷本小学校 ・藤が丘小学校	<ul><li>○年3回以上の小中一貫教育の共同研究を行っていきます。</li><li>○相互の授業参観、研究討議、児童生徒、教師間の交流を推進します。</li><li>○緑中ブロック小中一貫カリキュラムの運用・改善を行います。</li></ul>

- 〇人・文化・自然等と多様に関わりながら、豊かな感性や他への思いやり、互いに認め合う心を育てます。
- ○望ましい生活習慣を身につけさせ、時間を大切にし、心身の健康や体力の増進に取り組む態度を育てます。○学習の基礎基本を見につけさせ、知識を活用したり、探求したりする力を培い、学び続けられる強い意思を育てます。
- ○仲間や地域の人たちとの活動を通して、規範意識や協働する喜びを育て、社会参画への意識を高めます。○視野を世界へ広げ、3年間で段階的に他とのコミュニケーション能力を高めながら、現代的諸問題に取り組む資質を育てます。

重点取組分野		具体的取組	
知	授業改善	・相互学習参観や研修等の実践を通して、教師の授業力向上を図り、より意欲的に生徒が学習に自ら取り組み、 学力を定着させるように支援します。・生徒の授業評価を定期的に実施し、小中一貫カリキュラムをもとに基礎・ 発展・補充を取り入れた指導を適切に行います。	
担当	学習指導部		
徳	道徳・人権教育	・子どもの実態をもとに教科書等を活用しながら授業を行い、共通内容での全校一斉道徳授業を実施します。計計は一番では、 計1「道徳の時間」の充実・行事や特別活動等に関連する内容を選択し、それぞれの学年の発達段階に応じて、 を意識の高揚に努めます。 指針2「人権教育の充実」を図ります。	
担当	学習指導部		
体	健康教育	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てます。・体育祭や球技大会等の体育的行事を通して、スポーツに親しむ態度を育てます。	
担当	保健体育科		
公開	キャリア・平和教 育	・職業講話や進路学習等を通して、自分の生き方について真摯に考えさせ、系統性をもって指導します。・平和の尊さを自覚させ、人間としての尊厳の感覚と、人間として他者と共感しあう力を育てます。・合唱練習を通して、表現力を高め、コミュニケーションを豊かにし、相互に理解する能力を育てます。	
担当	総合委員会		
	いじめへの対応いじめ防止対策委員会	・目の前の生徒を大切にする意識を共有し、人権教育に関する研修を行います。・定例での学年連絡会での情報 共有や学校カウンセラーとの情報共有の場を設定します。・校長をリーダーに、担任や生徒指導専任、特別支援 教育コーディネーターからなるチームによる支援を進めます。	
担ヨ		  ・業務を組織的に進め、協力体制の充実にさらに努めます。・全教職員が学校運営に前向きに参加し、組織的対	
<u> </u>	人材育成・  織運営(働き方) 	・業務を組織的に進め、協力体制の元美にさらに劣めます。・主教職員が子校運営に前向さに参加し、組織的対  応能力や各ステージスキルを向上させ、相互評価等を通じて互いに人材育成に努めます。・教職員が相互に啓  発・連携・協働する学校運営に取り組みます。	
担当	管理職・教務部		
	合唱教育 緑が丘6か条	・職員年々入れ替わる中で、本校の伝統であった合唱教育も転換期に来ていると感じている職員が多い。  校行事を創り上げるという気持ちを大切にしながら、限りある人材を学校組織に上手に配置し、合唱コンク - の学校行事を無理なく進める方向で、全職員で取り組んでいきたい。	
担当	特活指導部		
	生徒指導	・教育相談を学級担任を中心に年間複数回実施するとともに、日常的な相談活動を全教職員で実施し、生徒3解をより深めるように努めます。・学校生活や登下校時の安全対策を、保護者・地域と連携・協力して推進します。	
担当	生徒指導部		
	特別支援教育	・特別支援教育コーディネーターに加え、各学年に学年コーディネーターを配置し、学校全体で、連携した指導体制を組み、組織的に対応し、実践していきます。・別室対応生徒への支援を組織的に行います。・特別支援教育支援制度を活用し、地域の人材と協力して、支援が必要な生徒の対応を進めます。	
担当	特別支援教育校内委員会	又仮門反で心用し、心域の人外と励力して、又抜か必要は土徒の刈心を進めます。	
	地域連携	・コロナ5類移行をにらみ、且つ、教職員の働き方に考慮して地域行事の精選を学校運営協議会等で提案・協議し、ポストコロナの学校と地域の在り方を考え、学校と地域の関係において、可能なことを全力で取り組んでいきたい。	
担当	管理職・渉外部		